

令和5年度第1回 恵那市介護保険事業計画策定委員会議事録

I 日時 令和5年7月19日（水）午後2時30分～午後3時15分

II 場所 恵那市役所 会議棟 大会議室

III 審議委員 長谷川核三会長、篠原勝彦副会長、
大木八重子委員、鈴木裕子委員、上野たき子委員、
松原淑明委員、鈴木弘二委員、西尾由香委員、
山本徳二委員、野田充委員、島崎太郎委員、
水野修宏委員、勝由美子委員、鈴木隆文委員、
坪井弥栄子委員、三宅弘文委員
(欠席) 山田忠委員、前野禎委員

IV 傍聴者 2名

V 次第

1. 開会

2. 議事

(1) 計画策定にかかる基本的事項について

(2) アンケート調査からみる第9期計画における課題について

3. その他

4. 閉会

VI 議事録

1. 開会

■会長

恵那市地域密着型サービス運営委員会を閉会し、引き続き恵那市介護保険事業計画策定委員会を開会する。

2. 議事（進行：会長）

(1) 計画策定にかかる基本的事項について

[事務局説明]

■会長

質問、意見を求める。

■委員

次回会議で第8期計画を検証するとのことだが、意見や提案等はその際に発言すればよいか。

■事務局

次回会議で、今期計画の検証と改善の方向を示す。そこでご意見をいただきたい。

■会長

では、議事の承認を求める。承認の方は挙手をお願いします。

[全委員挙手]

全員一致で承認とする。

(2) アンケート調査からみる第9期計画における課題について

[事務局説明]

■会長

質問、意見を求める。

なお、私自身は介護サービス施設で嘱託医をやっている患者を診ているのだが、私もこの施設に入所したいと思うくらいサービスが充実している。サービスをしている事業者の方は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しており大変お疲れだったと思う。この機会に要望等があれば教えていただきたい。

■委員

新型コロナウイルス感染症はまだまだ油断できないが、世の中の流れに合わせて気持ちは楽になってきている。介護や医療業界だけではなく、全国的、世界的にどのような業種でも大変だったと思っている。

アンケート等についてだが、私は小規模多機能ホームに勤めているのだが、地域には買い物に困難な高齢者が多くいる。

最近、オレンジ色のワゴンが町中を走っているのを見かけるが、どうしたら乗ることができるのか、どこに停留所があるのか、情報がなかなか入ってこない。

私の事業所で日中使用していない車両を高齢者の足として活用できたらと思うが、なかなか実現できずにいる。もし、何か協力できることがあれば、ぜひお声掛けいただきたい。

■委員

アンケート結果を見て、市が実施する介護予防事業の認知度が非常に低い。高齢者になってくると情報を集めることが難しくなる。

私の両親は70歳以上なので元気でいてもらいたいと願っている。身体の変化や日常の変化は家族のほうが気付きやすいので、私が情報を収集しなければと思っている。高齢者本人というよりも家族に情報が伝えられるような手段があればよいと思う。

■委員

私の施設でも昨年、新型コロナウイルス感染症のクラスターが出てしまい非常に辛い思いをした。今でも面会の際は直接会うのは控えていただき、窓越や外での面会をしていただいている。行事も家族を呼ぶことができず、新型コロナウイルスの影響で悩まされた期間であった。

■委員

高齢者のイベントがアンケートに出ていたが、高齢者の孤立が進んでいる。昔は農業が主だったので長男が家業を継いでいたのだが、今は長男でも好きな仕事を求めて家を出ていき都会化が進んでいる。

保育園と高齢者施設を近くに集めるといいう取り組みもある。私の母親は93歳なのだが孫が来ると表情が明るくなる。高齢者だけのグループ活動だけではなく、幅広い世代で交流できるものがあるとよい。

資料P.6 (1)①各種活動への参加状況について、「収入のある仕事」に高齢者も興味があるということがわかった。恵那市は農業が盛んな土地なので何か物々交換できるような仕組みがあるとよいと思った。

私は介護老人保健施設に勤めているが、病院から施設へ移動したときの引継ぎ、連携について意識的なすり合わせ含めて苦慮している。

施設と入所者家族、近隣の学校、社協など、施設に自由に出入りできるところで交流が深まればよいと思う。

■委員

私の所はグループホームなので認知症に関して気になる。

認知症が多くなってきたと感じている。施設の近くにサロンがあったのだが新型コロナウイルス感染症の影響で参加できないという形であった。

グループホームは認知症の相談窓口にもなっているので、今後、少しずつ地域とも交流して、相談を受けいれることができるように協力できたらと思う。

■会長

せつかくなので、計画の受託事業者（ジャパンインターナショナル総合研究所）の担当からも意見をいただければ。

■事業者

調査結果をまとめさせていただいた。今回は全体集計でアンケート調査を出したのだが、恵那市は大変地域差がある。

今後、計画を策定する上で、そういった部分にも視点を持ちながら施策を考える必要性を感じている。

■会長

では、議事の承認を求める。承認の方は挙手をお願いする。

[全委員挙手]

全員一致で承認とする。

6. その他

■事務局

委員の皆さまから様々な意見、特にPRや情報伝達について意見をいただいた。前向きに実施する方向で考えていきたいと思う。

今後は、計画策定に向け、サービス量や介護保険料を決定していく。

参考までに第8期計画の介護保険料を紹介する。岐阜県下では36団体があり、一番保険料が高いところが岐阜市で6,700円、一番安いところが川辺町の4,500円である。恵那市は15番目となり5,950円である。

今後、委員の皆さまにはサービスの提供量、伸び率を勘案して、どれくらいの金額が妥当であるかご意見をいただきたい。

いずれにしても恵那市の人口は減少していく一方であり、75歳以上は今後増え続けていくため、なかなか難しい舵取りが必要になってくるが、いつまでも住み慣れた恵那市で自分らしく暮らしていけるよう、よろしく願いしたい。

7. 閉会

■副会長

活発な意見交換ができ、また、貴重な意見をいただくことができたことを感謝する。恵那市介護保険事業計画策定委員会を閉会する。